



おめでとう 美浦所属馬 GI 優勝!



第83回 菊花賞 アスクビクターモア号



10月23日、阪神競馬場(3000m・芝コース)で行われた第83回菊花賞において、美浦トレーニング・センター田村康仁厩舎所属のアスクビクターモア号がGI初勝利を手にしました。また、鞍上の田辺裕信騎手は、デビュー21年目にして、初のクラシック制覇となりました。

先頭がハイペースで逃げる中、2番手で追走するアスクビクターモア。2週目の3コーナーからのロングスパートで勝負に出ると、ゴール前での後続の猛追を封じてハナ差でゴール。皐月賞5着、日本ダービー3着の悔しさを晴らし、コースレコードでのラスト1冠を勝ち取りました。

厩務を担当する塩野晋調教助手は、「プライドが高く、勝気な性格です。走ることに分をわきまえているので、彼を尊重して、集中できる環境を整えています。初めての関西でしたが、良い状態でレースに臨めました。最後の直線はセーフティーリードだったので、肝を冷やす思いでした。」と語ってくれました。今後の活躍期待しています。



田村康仁 調教師



塩野晋 調教助手



田辺裕信 騎手

第166回 天皇賞・秋 イクイノックス号



10月30日、東京競馬場(2000m・芝コース)で行われた第166回天皇賞(秋)において、美浦トレーニング・センター木村哲也厩舎所属のイクイノックス号が、春2冠(皐月賞・日本ダービー)連続2着の雪辱を果たすGI初制覇を成し遂げました

先頭が超ハイペースで逃げる中、中団後方を進んだイクイノックスは、満を持して最後の直線へ。そこからの末脚は、まさに圧巻。15馬身以上先を行く先頭との差をぐんぐんと詰めていき、鮮やかに差し切ると、1馬身の差をつけゴールしました。

厩務を担当する楠友廣調教助手は、「とても穏やかな性格で、行儀もよく、人のことをよく見ている子です。休み明けの体調が気になっていましたが、いい意味で変わってなくて、しっかり調整ができました。レースは、移動のバスの中でラジオで聞いていましたが、逃げている馬の名前しか聞こえず、どこにイクイノックスがいるのかわかりませんでした。ただ、バスの外から聞こえてくる大歓声に、ただならぬ事が起こっているのは感じていました。」と語ってくれました。



木村哲也 調教師



楠友廣 調教助手

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、厩舎には訪問せず電話による取材とさせていただきます。
なお、掲載している写真については、JRA・ご本人からご提供いただいたものを使用しております。